※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０３

令和５年度　芸術科「書道」

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」　（光村出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・各分野において、「覚えよう」「話し合おう」「やってみよう」「参考にしよう」の囲みを設置することで、書への興味、関心を喚起したり、課題解決能力を養っていったりしよう。

２　学習の到達目標

(1)　書の表現の方法や形式，多様性などについて幅広く理解するとともに，書写能力の向上を図り，書の伝統に基づき，効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
(2)　書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
(3)　主体的に書の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書の表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	篆書の臨書学習線の表情	・書道Ⅰから書道Ⅱへ ・書の創造的で個性豊かな表現の能力と鑑賞の能力を伸ばし、書の文化や伝統を理解し、書の美に親しむ心を養う。・最古の書体である篆書を学習して、素直にその印象をとらえる。 ・小篆や泰山刻石について理解する。 ・用筆法を学ぶ。 ・毛公鼎・泰山刻石 ・石鼓文・甲骨文	a:創造的な書表現をするために書の効果的な表現の技能を身につけ表していく b:基本的な用筆方法を理解し表現を工夫していく b:文字や書の伝統と文化について幅広く理解しその価値を考え書のよさや美しさを創造的に味わっていく c:篆書の美とその表現方法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいく	・取組観察 ・学習プリント ・提出作品	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察
	隷書の臨書学習	・隷書の基本を学習し、その用筆法、運筆法、字形の構成法の技術を高める。 ・乙瑛碑 ・居延新簡	a:創造的な書表現をするために書の効果的な表現の技能を身につけ表していく b:基本的な用筆方法を理解し表現を工夫していく b:文字や書の伝統と文化について幅広く理解しその価値を考え書のよさや美しさを創造的に味わっていく c:隷書の美とその表現方法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいく	・取組観察 ・学習プリント ・提出作品	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察
	篆書・隷書の創作	・短文を半切３分の１の大きさで篆書か隷書体で制作する。優秀作品を芸文祭に出展する。	a:創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身につけ表していく b:書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫していく b: 文字や書の伝統と文化について幅広く理解しその価値を考え書のよさや美しさを創造的に味わっていく c:創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組んでいく	・取組観察 ・学習プリント ・提出作品	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察

※令和４年度以降入学生用

	硬筆の宿題 展覧会の鑑賞	・整斉の文字構成を覚える ・いろいろな書の表現方法や形式・表現効果を探り、書の鑑賞能力を高めながら、書を愛好する心情を育てる。	a:書写で身につけた基礎的な技能を生かして表現していく b:書写で身につけた基礎的な能力を生かして表現を工夫していく b:日常生活の硬筆の書の効用について理解し、そのよさを味わっていく c:基礎的な能力を身につけ、その向上に努め、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組んでいく	・取組観察 ・学習プリント ・提出作品	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察
二学期	草書の臨書学習・行書の臨書学習	・中国と日本の草書の代表的な古典の臨書と鑑賞を通して、草書の用筆法や運筆法、造形の特徴を学び、表現の多様性と美しさを理解する。 ・十七帖・書譜・離洛帖 ・個性豊かな表現方法を学び、技術の向上を図る。 ・黄州寒食詩巻 ・黄州寒食詩巻跋	a:創造的な書表現をするために書の効果的な表現の技能を身につけ表していく b:基本的な用筆方法を理解し表現を工夫していく b:文字や書の伝統と文化について幅広く理解しその価値を考え書のよさや美しさを創造的に味わっていく c:篆書の美とその表現方法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいく	・取組観察 ・学習プリント ・提出作品	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察	・学習プリント ・提出作品
	篆刻	・姓名印を作る。 ・文字を素材とし、その文字をうまく処理して印面におさめ、刀が筆のようにさまざまな線質を生み出すのを理解する。 ・美的な鑑賞に耐えうる書の一分野として認識する。	a:印稿づくりにおいて小筆の弾力を生かし硬筆筆にも応用できる技法を身につけ表していく b: 篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫していく b:様々な印の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっていく c:名前の各書体調べを通して書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいく	・取組観察 ・学習プリント ・提出作品	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察

※令和４年度以降入学生用

三学期	かなの臨書学習	・穏やかな字形で、格調が高く、潤渇の美しい高野切、変化に富み、躍動感に満ちた関戸本、散らし書きの素材として最適な三色紙。それぞれの風趣を味わいながら、臨書する。 ・高野切か関戸本を短冊に仕上げる。 ・高野切か関戸本を集字して、自作の俳句を制作する。 ・高野切第１種 ・関戸本古今集 ・三色紙	a:基礎的、基本的な連綿や散らし書きの技法を身につけ表していく b:基本的な表現方法を理解し自らの意図に基づいて工夫していく b:古典を理解し、暮らしの中に書を生かすことによってそのよさや美しさを味わっていく c:仮名の美（連綿・散らし書き等）について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいく	・取組観察 ・学習プリント ・提出作品	・取組観察 ・学習プリント ・提出作品	・取組観察 ・学習プリント ・提出作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度